J☆sKep 2.0点以上向け

机に応じて椅子を選択して，学習体勢をつくる

機能的な目標ゴール

自分にとって最適な道具を選び出す

機能的な目標2nd

左手を添えて，右手で操作する

機能的な目標1st

ここでは，『自分にとって最適な用具を選択肢の中から選ぶことができる』について学びます。使い慣れている筆記用具やハサミなどを選んで，学習に取り組めるようになりましょう。

J☆sKep アセスメント ○△×で評価しましょう。

学習態勢	姿勢を一定にして，10秒以上，机上の課題に取り組んだり，大人と机上で向き合ってやりとりしたりして，課題を成し遂げることができる。	
指示理解	指示に応じて（その場で），10秒以上，待つことができる。	
セルフマネージメント	5分以上，座ったり横になったりして休めるか，提示された計画にそって行動したりすることができる。	
強化システムの理解	好きなものや，好きな活動をしてもらうことを期待して，課題を最後まで終わらせることができる。	
表出性のコミュニケーション	代替え手段を利用して，意思を伝えたり，自分の伝えたいことを，一日20回以上，伝えたりすることができる。	
模倣	モデルの人がする一つの動作を，正確に行うことができる。	
注視物の選択	少し離れた大人の手元や，机上に示された刺激を，注視したり，注目したりすることができる。	

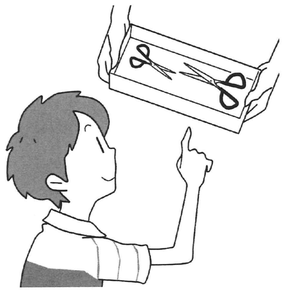
教材を準備しよう 教材：たすくスケッチブック，ハサミ

● 教材のセッティング

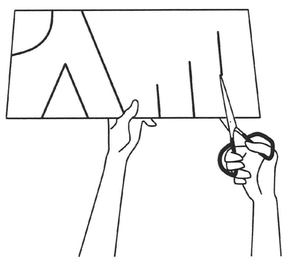
使い慣れたハサミを含めて，複数のハサミを入れたトレイを用意しておきます。

● 教材の使い方

ハサミの入ったトレイを差し出して，使用するハサミを選んでもらいます。



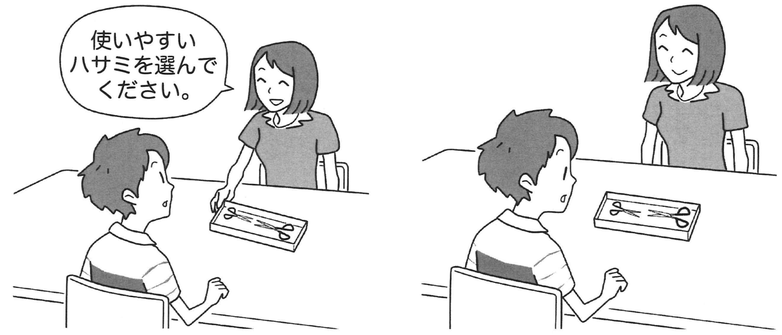
使い慣れたハサミを正しく握って，教材を切ります。



使い慣れている道具を選び出そう

1 適切な道具を探すために，教材の種類を確かめる。

先生は，複数の道具が入った箱を，子どもの前に呈示する。



2 普段使っている道具を，たくさんの道具の中から選び出す。

箱の中から，いつも使っている使い慣れた道具を見つける。

3 道具を，正しく構えることができる。

4 使い勝手が悪かったときに，別の道具を試す。

Point
使い勝手が悪かったとき，別の道具を試そうとすることができる。